

# 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 6年 2月 1日

放課後等デイサービス チェリー

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体勢整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	1	基準の倍の広さを確保しています。	成長に応じた十分な広さとは言えませんが、パーティションを使用したり特性に応じた構造化を図ったり、状況に応じて分散する等、工夫していくよう務めていきます。
	② 職員の配置数は適切である	6	2	0	基準を満たしたうえで支援に支障のない人数の職員配置を行っています。	法令遵守に努めていきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	0	バリアフリーで建設された建物ですが、床は硬い材質ですので転倒してケガがないよう防災マットを敷く等工夫しています。	廊下やトイレは一部しかマットがなく、同じ硬い材質の床ですので転倒など十分気をつけていきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	0	職員会議、朝礼、終礼による情報の共有、検討会、その日の振り返りをおこない、その内容を記載するノートを作成し、全職員で共有できるように改善しました。	全職員が積極的に意見や案を出し合いながら参画していけるよう、話しやすい環境づくり等、努めていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	0	令和5年度の保護者向け事業所評価アンケート調査を行わせていただきました。	結果に基づき意向を把握はしているが、まだまだ改善できているとまで至らない部分も課題として残っております。評価表の結果を1つひとつ受止め、課題を抽出し業務改善に努めていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	事業所への掲示を行っています。併せてホームページでの公開もおこなっています。	ホームページについての周知。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	4	第三者機関での評価は現在行っていません。	結果として職員間での認知が不十分であることも課題です。今後外部評価を実施するか、検討を重ねていきます。
	⑧ 職員の資質の向上の為に、研修の機会を確保している	7	1	0	毎月の施設内勉強会 法人全体での研修会（回数増） 協会への入会と定例会、研修への積極的参加（オンライン含む）	コロナを機にオンライン研修も増えてきたので、積極的に参加をしていきます。協会の定例会や研修会にも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	7	1	0	別支援計画書の立て方や、記入方法（様式）の改善	ご本人をとりまく環境（学校や事業所、ご家族など）も含めた、ご本人の様子やご家族のニーズに沿って分析、検討するように心掛けていきます。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	0	標準化されたアセスメントシートへの移行。	アセスメントツールを活用し、適応行動の状況の分析に努めていきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	0	職員間での情報、意見を交わし子どもの現状も踏まえて日々検討しています。	職員全員で集まって検討できる機会を、計画的に設置してきました。今後も継続して支援に携わる職員全体で取り組んでいきます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3	0	個別記録をもとに個々の活動経過や成長に合わせて取り組んでいます。	もう少し、個別と集団との計画的なプログラムを整備していく等改善が課題です。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援している	7	1	0	その日の体調や様子を見て、職員で話し合い、計画に合わせた設定を行っています。	計画的立案をして取り組めるよう検討・改善を図っていきます。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	0	子どもの各々の特性を大切にしながら取り組んでいます。	計画案を作成する際に意識しながら取り組んでいますが、個別活動に偏ってしまうこともあり、今後も課題として改善に努めていきます。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	朝礼（昼礼）時に、連絡事項、配慮事項、前日の終礼時内容再確認、送迎者配置や支援についての確認、段取りなど話合っています。	朝礼（昼礼）、終礼での内容を繋げていき、職員間の情報の共有、周知にも引き続き努めていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
適切な支援の提供	①⑥	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	8	0	0	終礼の取り組みを実施しています。終礼の中でヒヤリはつとやその日の振り返り、気になる点の検討など行い終礼ノートも記録しています。記録した内容の周知も効率よくできるよう改善しました。	送迎の職員が戻ってからとなるので、終礼時間が足りないこともあります。業務の取り組み方の再検討や効率化など改善に取り組んでいきます。
	①⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	記録様式の見直しを行い、支援に支障なく確実に記録がとりやすいよう改善を図っています。また、次の支援につなげていけるように記録には気をつけています。	見直しの中で、支援の経過が記録され、引き継がれるよう配慮して検討してまいります。
	①⑧	定期的に、モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	0	できるだけ相談支援事業所、併用事業所も合同で開催するよう心がけています。	オンライン等の活用も、もっと活かしていければと考えています。
	①⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	6	2	0	ガイドラインにおける勉強会を行い基本活動の理解を深めています。	ガイドライン内容のより具体的な理解につなげていくことが課題です。
関係機関や保護者との連携	②⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	0	通年何かしらの感染症状況もあり、予防に努め最小人数で実施しています。	職員の質の向上に努め皆が参画できるようにしていきたいと思えます。オンラインの活用ももっと広げていきたいです。
	②⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	5	0	学校行事等の連絡調整は、保護者のご協力を得て行っております。	連絡調整等は継続して、ご家族の協力を得ながら漏れ等がないように行っています。
	②⑫	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	-	現在医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っておりません。	現状では看護師等の配置を行っておらず、受け入れが困難な状況にあります。
	②⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4	1	他事業所との情報交換は、相談支援事業所を通じて行っています。	相談支援事業所や保護者を介しての情報共有が主でしたので、今後は直接的な連携をもっていくことも検討しながら努めていきます。
	②⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1	0	他事業所との情報交換は、相談支援事業所を通じて行っています。	対象利用者の支援を繋げていくために、細やかな情報提供を心がけます。
	②⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	0	オンライン研修は環境が整い、徐々に受講機会を設けています。	専門機関との連携により助言や研修などに参加するよう今後も努めていきます。コロナ禍で定着してきたWeb研修等も活用してまいります。
	②⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	0	1	7	現在活動する機会がもてていないのが現状です。	今まで取り組みができていないところだったので、機会がもてないか検討してまいります。
	②⑰	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6	2	0	佐々町の自立支援協議会への参加こどもふくし協議会への入会	県北保健所等の研修等には参加しておりますが、松浦市、平戸市などの協議会とのつながりも機会があれば今後広げていきたいです。
	②⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	0	連絡ノートの活用や送迎時の直接対面などで、情報の交換や伝達を行うように努めています。	限られた時間の中で、送迎時の伝達ができなかったり、連絡ノートの記載が間に合わないことがあります。電話などで直接連絡をしたり、家庭との情報共有に努めます。
	②⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	1	当事者や、当事者を支える家族の話がきける無料講演会などの案内があれば、お知らせと案内をおこなっています。	傾聴の姿勢で、無理強ひすることなく、状態などの情報を提供しモニタリング時や送迎時などに支援していくよう努めてまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	0	難しい内容だけでなく、できるだけわかりやすくお伝えするように意識しています。	変更等があった場合は、その都度わかりやすくご説明をするよう努めていきます。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	0	相談しやすいと感じてもらえる関わり方をもてるように、心がけています。	必要な助言と支援が行えるよう、職員の知識やスキルアップも、研修や勉強会等を通して図っていきます。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携が支援している	1	4	3	法人内他事業所の家族会に参加し、参考にさせてもらいながら検討しているところです。	まずはサロン会のような場を定期的に開催できないか検討しているところです。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	0	大きな苦情とならないように、日々小さな困りごと等の保護者の声を聴き流さずひろっていくよう心がけています。	1つひとつの声を聞き流さず、真摯に受け止めて向き合い、迅速な対応に努めていきます。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	3	現在、会報等の発信には至っていませんが、ホームページへの掲載は実施しております。	ホームページを活用してもっと情報の発信ができないか検討していきたいと思えます。
	③⑮ 個人情報の取り扱いに十分注意している	7	1	0	ホームページの運用にあたって、写真使用について意向確認を実施しました。	意向確認結果をふまえて、十分注意して写真など取り扱っていきます。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	0	連絡ノートの活用や送迎時の直接対面などで、情報の交換や伝達、電話連絡での伝達を行うように努めています。	できるかぎり情報の伝達や共有は、意識的におこなっていくよう取り組んでいきます。
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	7	招待などには至っていません。	開かれた事業所づくりの為、現在参加している協議会でのつながりを活用し、今後検討していければと思っております。
非常時等の対応	③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	1	閲覧が自由にできるよう事業所の室外に設置はしておりますが、ゆっくり読まれる時間や来所する機会が少なく、保護者への周知までは至っていない現状があります。	各マニュアルを現状に即した形で整備し、保護者の方へも周知できるような方法の検討等努めていきます。
	③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	7	1	0	火災、防火、災害避難訓練を計画、実施に向けた取り組みをしています。災害時避難場所の確認と整備もおこなっています。防災備え用品については、災害時用・感染症時用と整備しました。	災害時指定避難場所の保護者への周知方法も整備していきます。
	④① 虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	0	法人研修において虐待防止にむけた研修を年間5回開催し、取り組んでいます。また新入職員勉強会、フォローアップ勉強会の中でも取り組んでいます。(法人)	今後もWEB研修での外部研修や法人内研修、事業所勉強会等で定期的に勉強する機会を設け繰り返し取り組んでいきます。
	④② どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	0	事例検討会を含め事業所内だけではなく、法人全体で身体拘束適正化委員会でも取り組んでいます。該当するような事案がある場合は、支援計画への記載、保護者へのご説明と同意をいただいております。	できるだけ拘束をするのではなく、行動に対する原因にアプローチする支援を心がけ、行動の改善や適切な方法への移行などを目指していきます。やむを得ない事由により身体拘束を同意をいただいたうえでおこなう場合においても、解除に向けた改善取組みに努めていきます。
	④③ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	0	現在対象児童はいませんが、薬の飲み合わせや食事形態や嗜好等に配慮し提供しています。	対象児童がある場合には、医師の指示書において対応していきます。
	④④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	0	終礼でのヒヤリはっと案件の確認、ヒヤリはっと記録の回覧徹底、職員会議での全員での対応検討会の実施等取り組んでいます。	情報の収集結果やデータを、法人内のリスクマネジメント委員会で、他部署との事例検討会などに繋げていきたいと思えます。

\* この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。